

おおえ つうしん 大江通信

へいせい ねん がつごう
平成28年4月号

はっこう しゃかいふくしほうじんしりべしほうおんかい
発行：社会福祉法人後志報恩会
おおえがくえん おおえつうしんいん
大江学園 大江通信委員



へいせい ねんとと 平成28年度の取り組み

しせつちやう おおぼらただよし
施設長 大洞忠義



ことし ふゆ いんふるえんざ のろいうるすなど かんせんしょう にゆーすなど とあ
今年の冬も、インフルエンザ、ノロウイルス等の感染症がニュース等で取り上げられておりました。お
さま おおえがくえん りやうしゃ みな ひとり はっしょうしゃ げんざい いた すうねん とうきかん
げ様で、大江学園は利用者の皆さん1人の発症者もなく現在に至っております。ここ数年、冬期間はこ
かんせんしょう なや ことし たいさく きやうか りやうしゃ しょくいん みな きやうりよくいただ
感染症に悩まされてきました。今年是对策を強化し利用者さん、職員の皆さんにご協力頂いたおかげか
とおも
と思っております。

こんねんど かき てん じゅうてんすいしんもくひやう しせつちやうえい じゅうじつ とく かんが
さて、今年度は下記の3点を重点推進目標にかかげ施設運営の充実に取り組みたいと考えております。

1. 施設整備計画の作成
おおえがくえん たてもの ちく ねんけいか ろうきやうか すす たてか また しゅうぜん たかく ざいげん
大江学園の建物は築33年経過し老朽化が進んでいます。建替え又は修繕のためには多額な財源が
ひつやう 必要になります。今年度は、将来の方向性を定め、実現可能な施設整備計画の作成に取り組みます。
しゃかいこうけんじぎやう りやうしゃしえん じゅうじつ
2. 社会貢献事業と利用者支援の充実
おおえがくえん かいせつとうしよ ちいきこうりやうかつどう せつきよくてき すす こんねんど あら かつどう
大江学園は開設当初より地域交流活動を積極的に進めてきました。今年度は新たな活動にも
と 取り組み利用者支援の充実と地域貢献事業に繋げて行きたいと考えています。
はたら
3. 働きやすい職場環境づくり
しょくいん いけん ようぼう き こみゆにけーしよん めんだん じゅうじつ はか はたら しょくばかんきやう
職員の意見や要望を聞くために、コミュニケーション面談の充実を図り、働きやすい職場環境づ
くりを進めます。

こんねんど みなさま ねが もう あ
今年度も皆様よろしくお願ひ申し上げます。

にっちゅうかつどう

日中活動について

おおえがくえん ころれい りようしゃ おお せいかつ しごと さぎょう
大江学園ではご高齢の利用者さんが多く生活されています。そのため「仕事」や「作業」
ではなく、「趣味」を中心とした活動を展開しています。主な活動としまして

- 陶芸作品づくり
- 軽運動、レクリエーション など

すべ きぼう みな じゆう さんか し く
全て希望される皆さんが自由に参加できる仕組みとなっています。

とうげい さくひん つく びじゅつてん かんせい さくひん おうほ ひと み
陶芸では作品を作るだけではなく、美術展に完成した作品を応募し、いろんな人に観てもら
うこともできます。



おさないあきひこ
小山内明彦さん



よいち こうぼ びじゅつてん さくひん
余市 公募 美術展 に 作品 を
おうほ
応募。

よいちちようちようしょう がつ
余市町 長 賞 「12月」

よいちきょういくいいんちようしょう せいれつ
余市教育委員長 賞 「整列」
さくひん じゅしょう
2 作品を受賞。

へいせい ねんど かいさい
平成27年度に開催されたみんなあ
ーと2016にて審査員 賞 特別
しょう じゅしょう さっし おお から ー
賞を受賞。冊子には大きくカラー
けいさい
で掲載されました。

みんなあーと2016 審査員 特別
しょう めりーくりすます しゃんした
賞「メリークリスマス」(写真下)



さとうゆり
佐藤ユリさん

どうげいかつどうたんどう あおきともこしよくいん どうげい おこな りようしゃ に き おうこく どうげいさくひん
陶芸活動担当 青木智子職員より:陶芸を行っている利用者さんは仁木きのこ王国に陶芸作品
 すぺーす もう いただ さくひん はんぱい おこな げんざい の さくひん はんぱい む せいさくちゅう
スペースを設けて頂き、作品の販売を行います。現在はぐい飲みの作品を販売に向けて制作中
 ひびみな かんぼ
です。日々皆さんとても頑張っています。



けいうんどう にっちゅうれくれーしょん
軽運動 日中レクリエーションについて
 おおえかえん がいぶ じょうほう おお と い さいきん りようしゃねんかん じょいさうんどからおけ どうにゅう
大江学園では外部の情報も多く取り入れ、最近では利用者念願のジョイサウンドカラオケの導入をし
 みな からおけ けいうんどう ちから ばい
ました。皆さんカラオケがあると軽運動にも力が入るようです。



にっちゅうかつどうたんどう さとうようすけしよくいん からおけきき どうにゅう
日中活動担当 佐藤陽介職員より~カラオケ機器が導入されてよかったこと~
 きき どうにゅう くふう さいしんききをふるかつよう ぶろじゅくたー
機器導入にあたり、工夫していることがあります。それは最新機器をフル活用できるよう、プロジェクターで
 がめん どうえい おこな だいがめん しょう さいしんきき おんしつ み め とりあつかいてん ま
画面の投影を行い、大画面での使用です。また最新機器、ということもあり音質・見た目も取 扱 店に負けな
 くおいてい いま れくかつどう さんか りようしゃ さんか
いクオリティとなっています。そのためか、今までレク活動に参加されていなかった利用者さんたちも参加して
 いただ さいしん からおけき かいどほーかる しょう うた
頂けるようになりました。最新のカラオケ機ということもあり、ガイドボーカルが使用できるようになり、歌に
 じしん かた うた いま りようしゃ せにち からおけ たの こえ とだ
自信のない方も歌っていただいています。今では利用者さんから毎日「カラオケが楽しみ」との声が途絶えなく
 き うれ なや
聞こえてくるため、嬉しい悩みとなっています。

学 園 行 事

あ る す き - た い か い 歩 く ス キ ー 大 会

こ と し 今 年 の ゆ っ け り 歩 こ う ス キ ー 大 会 は 2 月 2 8 日 に 行 わ れ 、 今 回 で 1 7 回 目 と な り ま し た 。
ど う じ つ 当 日 は 、 地 域 の 方 か ら 「 大 会 が 始 ま っ て 以 来 の 快 晴 」 と の お 話 が 出 る ほ ど 天 候 に 恵 ま れ ま し た 。
い ち ぶ 一 部 で は あ り ま す が 、 練 習 と 当 日 の 風 景 を ご 紹 介 し ま す 。



が つ た ん じ ょ う か い ひ ゃ く さ い ぼ ん ざ い 2 月 誕 生 会 ・ 百 歳 万 歳

か つ た ん じ ょ う し ゃ - い か い っ し ゃ ち ょ う じ ゃ い か お こ な 食 事 に は 松 花 堂 弁 当 を 使 用 し 、 内 容 も 赤 飯 や
2 月 の 誕 生 者 の お 祝 い と 一 緒 に 長 寿 の お 祝 い も 行 い ま し た 。 食 事 に は 松 花 堂 弁 当 を 使 用 し 、 内 容 も 赤 飯 や
て ん 天 ぷ ら 、 さ し み な ど 豪 華 な も の が 並 び ま し た 。 食 事 の 後 は 、 職 員 の 余 興 を 見 て 一 緒 に 踊 っ た り 、 新 し く 導 入 さ
れ た ジ ョ イ サ ウ ン ド の 機 械 を 使 っ て カ ラ オ ケ を し た 方 も い ま し た 。 皆 さ ん と て も 楽 し ま れ た よ う で す 。



平成27年度新任職員育成研修を終えて

大江学園では新任職員を対象に、福祉、医療、栄養、事務、歴史など様々なテーマで大江学園と大江地域を知るための研修が1年を通して行われています。昨年度の育成研修を終えた職員の感想を掲載します。

自分の知らない事をたくさん学び、改めてこの仕事の難しさを感じました。日頃から初心を忘れずに丁寧な支援を心がけていきたいです。また、今までお世話になってきた地域に貢献できるよう、地域活動も頑張ります。(山下舜史)

講師が同じ職場の先輩だからこそ、分からない事や疑問に思っている事を気軽に質問でき、とても役立つ研修となりました。この研修で得た知識をこれから職場で活かしていきたいと思います。(川原まどか)

医療・栄養など、多方面から大江学園について学ぶことができよかったです。日々、別の分野で利用者さんの支援にあたっている、各部署同士が連携して支援していくことが大切だと感じました。(西莚美帆)

中途採用のため後半だけの参加でしたがとても勉強になりました。地域の方との繋がり・医療・事務など、学んだことを今後の業務にどのように活かしていけるのか、自分の中でも大きな課題となりました。(長瀬侑憲)

平成28年度新任職員紹介



長瀬 侑憲 支援員
出身地 札幌市
趣味は食べ歩きです。昨年の10月から大江学園に来たので今年は色々な行事を頑張りたいです！



石川 巧 支援員
出身地 小樽市
趣味はゲームと筋トレです。皆さんに早く顔を覚えて頂けるよう頑張りますのでよろしくお願い致します！



成田 萌 支援員
出身地 小樽市
趣味は写真です。和光学園から参りました。昨年の交換研修ではお世話になりました。初心を忘れず頑張ります！



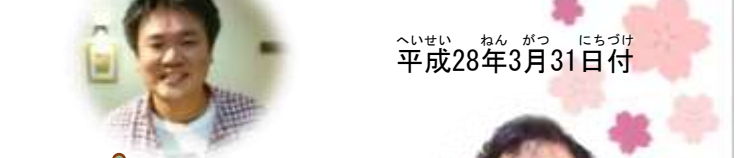
藤澤 真吾 生活支援科1科係長
出身地 銀山
趣味は家庭菜園です。分からない事ばかりでご迷惑をおかけするかと思いますが、よろしくお願い致します。



徳保 遥 支援員
出身地 余市町
好きなことは食べる、寝ることです。自分なりに精一杯頑張りたいと思いますので、よろしくお願い致します。

世のお世話になりました

転出 鶴田 泰大 生活支援科1科係長
グループホーム ふきのとうへ



平成28年3月31日付

施設内異動職員

山林 弘治 医療支援科係長へ
熊木 ひろ美 いなほユニット係長へ
西莚 美帆 いなほユニットへ



平成28年4月1日付

退職

大原 夏代子 調理員
関本 裕美 支援員
山下 竜也 支援員

平成28年3月31日付

このたび公益財団法人 大友福祉振興財団の助成により、下記の事業が完了致しました。
ここに事業完了のご報告を申し上げますと共に、謹んで感謝の意を表します。

- 一、事業名 歩行補助用手すり
パートナーUDフェンス A型 一カ所
- 一、総事業費 325,296円
- 一、助成金 260,237円
- 一、施設の名称 社会福祉法人 後志報恩会
指定障がい者支援施設 大江学園
- 一、完了年月日 平成28年2月22日



ボランティアコーナー

2月16日に「おはぎの日」、3月28日に「ドーナツバイキング」を行いました。
民生委員の皆さんには、毎年美味しいおはぎを作って頂いています。年に一度のおはぎが食べられる日を、利用者の皆さんも楽しまれたようです。ドーナツバイキングでは、ボランティアの里の加賀さん、山内さんにご協力頂きました。
こういった行事を開催出来るのも、地域の皆様やボランティアの皆様の支えがあってこそだと思っております。本当にありがとうございます。



編集後記

1日経つごとに陽が射す時間が長くなり、大江学園でも春を感じられるようになりました。
これからも利用者の皆さんの元気な日常をお伝えできるよう努めて参ります。今年度も大江通信を宜しく願い申し上げます。
編集委員：納谷、後藤、中本、西埜